

第6回 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

会 議 録

1. 会議名 第6回北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

2. 開催日時 平成26年6月4日（水） 午前10時30分～午前11時30分

3. 開催場所 北杜市役所 西会議室

4. 出席者（敬称略）

出席委員：大山 勲、雨宮正行、原かつみ、三井 茂、利根川 昇、井口 哲郎、千野 憲
治、小林 健展、長坂 正、輿水順彦、浅川 力三、小池 明智、小幡 宏、乙
守 和人、中村 学、菊原 忍、田中 幸男

欠席委員：室田泰文、古谷 賢仁

事務局：神宮司建設部長、清水建設部次長、土屋道路河川課長、道路河川課維持管理
担当 中田、小尾

会議録署名委員 菊原 忍、田中 幸男

5. 議題

① 開会

② 委員長挨拶

③ 議事

(1)まちづくりビジョンについて

(2)その他

④ 閉会

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 10名

8. 審議内容（司会進行：事務局）

1 開会

- ・事務局より開会の挨拶

2 委員長挨拶

- ・本委員会は、中部横断道路を見据えた具体的な計画を検討するもの。
- ・本日の委員会は、策定したまちづくりビジョンの説明、及び今後の進め方についての審議を行う。
- ・本委員会は、中部横断道の有り無し、具体的なルートを決定するものではないこと、今後のまちづくりを考える委員会であることを念頭に置いて、活発な議論をお願いしたい。

3 議事

（検討委員会設置要綱第6条2項の規定により大山委員長に議長をお願いする。）

(1) まちづくりビジョンについて

- ・事務局より、資料1に基づき、まちづくりビジョンについて説明。

（委員長）北杜市の特徴として、環境と景観が一番重要。

- ・事務局より、資料2に基づき、今後の進め方、資料3に基づきワークショップの事例紹介について説明。

（委員長）アンケート調査や説明会は、枠組みが決まっていたり、行政の考えで作成されたりしている。自由に色々なアイデアが出るよう考えられたのがワークショップという手法である。多くの自由なアイデアを出すことが目的。行政計画づくりにおいてはワークショップによって出されたアイデアを基に、責任を持って行政が計画を策定する。ワークショップに関する情報発信や、参加していない人が簡単に意見を言える工夫が必要。実質、何回くらい開催可能なのか。

（事務局）次回、具体的な事務局案を提示するが、3～4回のワークショップと、その結果を審議する活用検討委員会を行いたい。

（委員長）ワークショップの時間については。

（事務局）夜の開催で、1回あたり2時間を複数回というイメージか。

(委員長) 過去に北杜市で開かれた景観計画の際のワークショップでは、事務局は大変だったかもしれないが、多くの良い意見を得ることが出来た。しっかりやって頂きたい。

(委員) ワークショップには、委員も入るのか。

(事務局) 委員には、ワークショップでまとめた原案について、活用検討委員会で審議して頂きたい。

(委員) ワークショップのやり方は。

(事務局) 各分野で検討したものを総合的にとりまとめる方法が効率的であると考えている。方法は、事務局案を作成し、活用検討委員会で審議して頂き、決定したい。

(委員) 活用検討委員会での審議も行うが、委員も一市民としてワークショップに参加しても良いのではないか。

(委員長) 私も同感です。

(事務局) 意見を参考に、委員の参加のあり方を事務局で検討する。

(委員長) ワークショップは多様な意見を出すことが目的であり、一市民として委員が参加することを妨げることはない。

ワークショップによるビジョンの具体化という、今後の進め方についても了承。

(2)その他

(事務局) 所掌外の意見のうち、北杜市に寄せられたものは、市の見解を示す。国に対する意見は、市から国に適正に扱うよう報告する。市の見解は、パブリックコメントと同様に、市のホームページ、回覧を通じて示す。

(委員長) 北杜市として真摯な回答をお願いします。

4 閉会 事務局

会議終了 午前11時30分